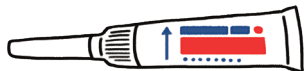


…… 外耳炎の治療 ……

内科的治療

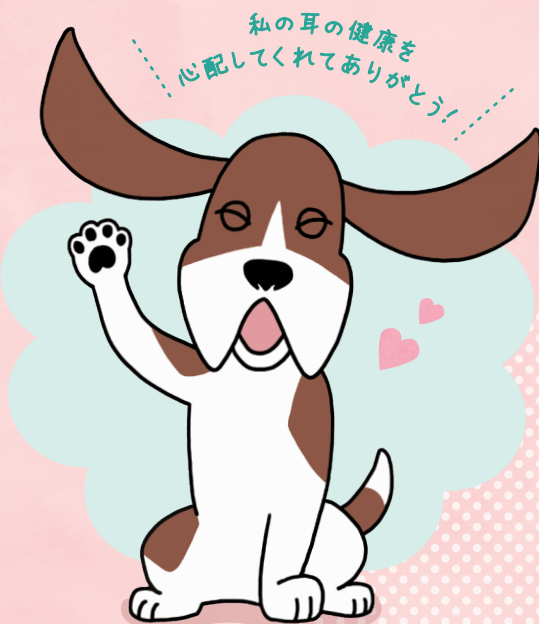
耳の洗浄や改善すべき因子を取り除く治療を行います。副因がある場合、抗菌薬や抗真菌薬を含む長期作用型などの点耳薬を用います。



点耳薬を使うことが困難な場合、全身投与薬を用います。

外科的治療

重症化すると、外科的治療が必要になる場合があります。



…… 外耳炎の管理 ……

外耳炎の完治は難しく、生涯に渡って管理が必要になることもあります。飼い主様ご自身で判断せずに、動物病院で定期的に診察して貰いましょう。



「外耳炎の管理について」の
解説動画は[こちら](#)



↑音声付き動画です。
音量に注意してください。

「外耳炎の管理について」もっと知りたい方は、
ぜひこちらの動画もチェックしてみてください。



「再発を繰り返す
外耳炎の管理について」の
解説動画は[こちら](#)



↑音声付き動画です。
音量に注意してください。

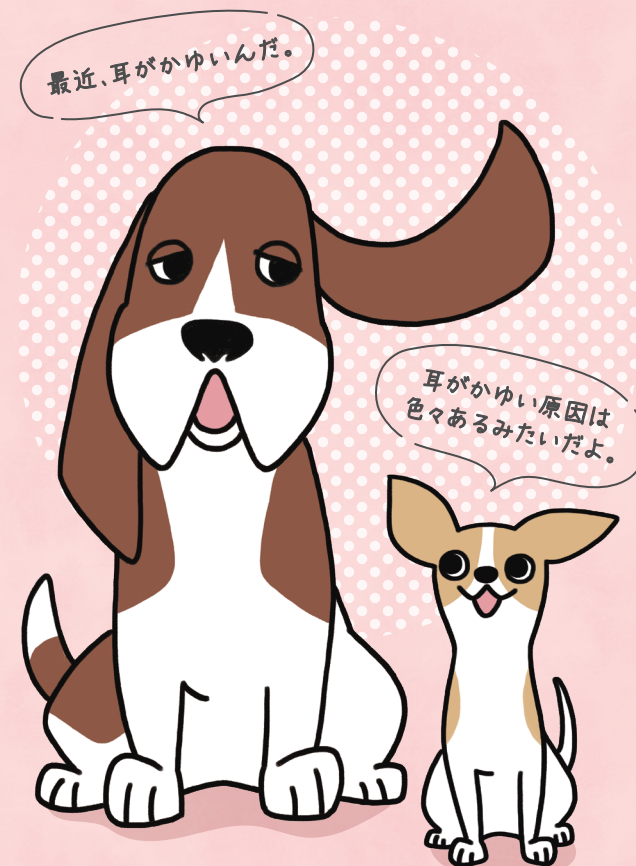
病院名

Blank box for hospital name.

3460AH HAB

ワンちゃんの 外耳炎

外耳炎の原因は、1つではありません。



bah 物産アニマルヘルス



外耳炎に關与する因子は大きく4つに分類されます。

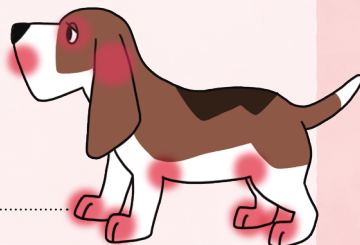
外耳炎の主因

これだけで外耳炎が発症する因子のこと。

アレルギー

アレルギー性皮膚炎は、耳などに炎症を起こします。

※赤いマークはアレルギー性皮膚炎が起こりやすい部位です。



異物の混入

お散歩の途中などで草の種などの異物が入ってしまうと炎症の原因となることがあります。



耳ダニの感染

激しくかゆがります。耳ダニは伝染するため、同居動物も耳ダニ治療をする必要があります。



主因と素因の
解説動画は[こちら](#)



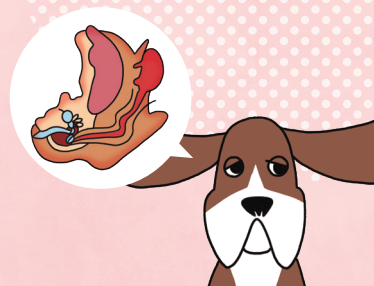
↑音声付き動画です。
音量に注意してください。

外耳炎の素因

外耳炎を発症しやすくする因子のこと。

通気性が悪い耳の形

犬の外耳道は、L字型に曲がっているため通気性が悪い形をしています。さらに、垂れ耳や耳道に毛が多いと蒸れやすくなり、バクテリアなどが増えやすくなります。



頻繁な入浴や水遊び

たびたび耳の中に水が入ると湿ったままになりやすいため、バクテリアなどが増えやすくなります。



綿棒やイヤークリーナーの過剰使用

綿棒やイヤークリーナーによって、耳掃除をし過ぎると、かえって炎症を引き起こすことがあります。



外耳道の自浄作用

実は耳には、耳の奥から外に向かって古くなった皮膚や分泌物を含んだ耳垢*を運ぶ「自浄作用」があります。積極的に耳掃除をしなくても耳垢*は耳の外まで運ばれます。

*「みみあか」または「じこう」



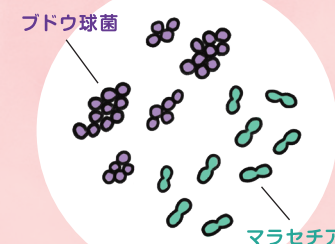
外耳炎の副因

外耳炎の発症に関わっているものの、これだけでは外耳炎を発症しない因子のこと。

代表的なものは、バクテリア（ブドウ球菌）と酵母様真菌*（マラセチア）です。

*カビの仲間

ブドウ球菌やマラセチアは、健康な外耳道に存在しますが、外耳道の状態が悪くなると異常増殖して炎症を起こします。



ブドウ球菌やマラセチアの異常増殖の有無の確認には、顕微鏡検査（細胞診）が必要です。

細胞診の解説動画は[こちら](#)



↑音声付き動画です。
音量に注意してください。

外耳炎の持続因子

外耳炎を治りにくくする因子のこと。

外耳道の炎症の慢性化は、外耳道を腫れさせ狭くし、治りにくくなります。